

## 第2回(平成23年度)日建連 快適職場表彰の選考結果について

労働委員会では、平成23年度「快適職場表彰」の表彰式を執り行いました。今回、ご応募いただいた会員企業の優れた取り組みについては、水平展開を図り、「作業所労働環境の改善」を推進して参ります。

### ■制度の目的

- 優れた快適職場施設を表彰することにより、日建連会員の作業所に相応しい快適職場施設の高度化に寄与すること
- 現在働いている建設技能者のみならず、将来建設業界を目指す若者にとっても魅力ある職場環境の創出に寄与すること

### ■選考委員会 (敬称略)

委員長 芝浦工業大学 工学部建築工学科 教授 蟹澤 宏剛  
委員 国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課労働資材対策官 内田欣也  
委員 (社)建設産業専門団体連合会 会長 才賀 清二郎  
委員 (株)日刊建設工業新聞社 編集局長 横川 貢雄  
委員 (株)日刊建設産業新聞社 編集局長 徳田 健一  
委員 (株)日刊建設通信新聞社 編集局長 服部 清二

### ■応募結果

- 募集期間:平成23年11月1日～12月22日
- 応募総数:104件(22社) (うち建築:68件、土木36件)

### ■応募内容について

今年度から応募用紙に「所長や工事長のトップの思い、熱意のこもったテーマ、主な実施事項、その効果や職人さんの反応」を記入していただきました。

テーマ例) ・記憶に残る現場として働く作業員の姿を写真撮影し編集・上映・DVD配布  
・近隣との軋轢は作業員のストレスにもなるため、近隣関係を良好にする活動  
・とにかく熱中症を現場から出さないぞ！という熱意  
・現場内のコミュニケーションと心のやすらぎを大事にする気遣い  
・地球と環境にやさしい、エコ重視の思いやり

設備および対策面では、休憩所等設備の充実、熱中症対策の工夫と徹底、衛生面の配慮に、一生懸命取り組んでいる作業所が多く見受けられました。

### ■選考作業にあたって

- 選考にあたっては、他の作業所にとって参考となることを念頭に、より先進的な取り組みやアイデアの斬新さなどに着目しました。
- また、予算やスペース等に制約の多い小規模作業所においては、熱意と工夫を凝らした実施事項の内容を重点的に審査しております。

### ■選考結果 (平成24年2月21日に選考会を開催)

- 最優秀賞: 1件
- 優秀賞: 4件
- 特別賞: 8件

### ■表彰式 平成24年3月15日(水)に実施



記念撮影



ステンレス製の記念プレート

#### ◀蟹澤選考委員長による講評▶

- 地球環境への配慮や、作業員の体調管理に資する取り組みが当たり前のように広まってきていることを目の当たりにして、この表彰制度による意義を感じている
- 今回は特に現場でのものづくりについて、本人のプライドをどのように高めるか、家族にどのように知ってもらえるか、近隣の方々にもものづくりの素晴らしさ、大切さどのように伝えるか、現場で苦慮している様子が数多く見受けられ、こうした取り組みを高く評価した

#### ◀井上委員長による挨拶▶

- みなさんの日頃の取り組みが、単に快適環境の整備のみならず、建設技能者に対する熱い思いやりと、建設業に従事していることへ高い誇りがあったため、強く確信している

### ■最優秀賞の紹介 ～(仮称)神田駿河台4-6計画新築工事作業所 大成建設(株)～

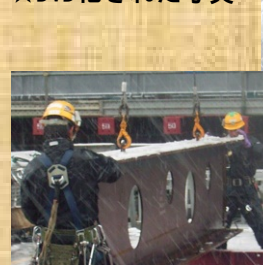
スローガン:『絆』を大切に現場、記憶に残る現場

- 社員と職人たちが会社を超えた仲間意識をもち、同じ目線でより良い現場を実現する過程を大切にすべく、現場に従事する職人の姿を写真撮影し、編集し節目の会合で上映。
- 撮影した写真をDVD化して関係者全員に配布することで、自ら働く姿を各家庭に伝えることが可能となり、記憶に残る現場にするという新しい試みを高く評価した。

#### ◀最優秀賞の大成建設・伊藤所長による挨拶▶

- 職人一人ひとりが現場でやる気になり、家族のために誇れる仕事をするこによって、必ずや安全や品質にもつながると確信している
- 今後も職人と一体となって記憶に残る仕事を行うと同時に、施設だけに頼らない心の快適職場を目指して日々努力していきたい

#### ★DVD化された写真



雪の中での共同作業



高所での共同作業



親子



現場に写真を掲示

第2回(平成23年度)日建連 快適職場表彰 受賞作業所一覧

表彰名	工事名称	施工場所	会社名・JV名	「快適職場」づくりに対する「テーマ(またはスローガン)」	評価ポイント
最優秀賞	(仮称)神田駿河台4-6計画新築工事	東京	大成建設株式会社	『絆』を大切に作る現場にする。記憶に残る現場にする。	社員と職人とが会社を超えた仲間意識をもち、同じ目線でより良い現場を実現する過程を大切にすべく、現場に従事する職人の姿を写真撮影し、編集し節目の会合で上映。DVD化して関係者全員に配布することで、自ら働く姿を各家庭に伝えることが可能となった。絆を大切に記憶に残る現場にするという新しい試みを高く評価した。
優秀賞	大阪駅北地区先行開発区域プロジェクトAブロック	大阪	梅田北ヤード共同企業体Aブロック(大林組・竹中工務店)	『気を持って和を大切に作る職場づくり』～職場で働く者すべてが力を合わせ、明るく快適な職場(現場)を創る～	協力会社の意見や要望を取り入れ、関係者が気持を合わせ一体となって快適な職場環境づくりに取り組むことが真の快適職場の実現に繋がると考え、現場内コミュニケーションの推進を図るべく、全員参加型の運動会・あいさつ運動・レディースパトロールなど高い実行力を評価した。
優秀賞	国道253号八箇峠トンネル(十日町工区)工事	新潟	鹿島建設株式会社	環境保護と地域社会との絆で、快適職場の構築!	トンネル工事は工期が長く、掘削土砂の運搬等もあり地元地域の環境や人々に影響を及ぼす。地域の環境に配慮しながら、地元の人々との良好な関係を構築することにより働きやすい職場作りを実施したことを評価した。
優秀賞	福島裁判所(09)建築その他工事	福島	株式会社竹中工務店	新しい3Kを目指した「きれい・かんたん・きもちいい」作業所作り	厳しい施工環境による負のスパイラルから脱するため、「きれい・かんたん・きもちいい」の新3K宣言をうち出すと共に、ペアシステムを取り入れた教育推進により次世代を担う人材育成を行ったことを評価した。
優秀賞	新佐賀県立病院好生館(仮称)病院棟新築工事	佐賀	竹中・松尾・中野・唐津土建特定建設共同企業体	『やる気』を創出、『やりがい』を持って働く快適職場	現場オリジナルあいさつ運動「ガバアゴ」を推進し、『快適さ』は『働きやすさ』だけでなく『やりがい』が生み出す仕事の充実感によって生まれるという発想により、建設業の醍醐味である『やりがい』を感じてもらうために種々の取組を行ったことを評価した。
特別賞	新東名高速道路沼津SA商業施設新築工事	静岡	清水建設株式会社	熱中症を絶対に防ぐ為の現場づくり	建築現場では夏季期間、毎年のように熱中症になる方がいるため、当現場では一人として熱中症を出さないという強い決意のもと、熱中症対策KYのチェックリストには熱中症から仲間を守るための「職長から作業員への思いやりの言葉」は記すなど心のこもった実施事項を評価した
特別賞	南池袋変電所新設に伴う建築工事(Ⅱ期)	東京	南池袋変電所建築工事共同企業体(清水・大林・間・西武)	気づく目、感じる心、すぐ動く身体で作ろう快適職場	快適な作業環境を作ることで心と体にゆとりが出来て、ケガや事故のリスクを減らすことが出来るとの考えのもと、自然風の通らない湿度の高い地下での躯体工事では作業場にミストとミスト付きファンを設置、ポンプ車には騒音対策の防音設備、また整理整頓用の整理箱(100円ショップで購入したカゴ)を用意する等の工夫を凝らした対策を評価した。
特別賞	(仮称)横浜三井ビルディング新築工事	神奈川	大成建設株式会社	一人ひとりのコミュニケーションを大切に!	目安箱を設置し作業員からの要望を収集したほか、詰所に設置した売店でも作業員の声を商品に反映させた。プライバシーに気遣い個人のロッカー(カギ付き)を設置。熱中症対策では保冷剤入れ防暑タレを着用するなどの対策により2011年夏季は熱中症患者ゼロであった。作業員の声とコミュニケーションを大切に、かつ快適に作業に従事できるよう配慮した取組を評価した。
特別賞	大阪駅北地区先行開発区域プロジェクトBブロック	大阪	梅田北ヤード共同企業体Bブロック(竹中工務店・大林組)	思いをひとつに・・・愛される職場を目指して	休憩・朝食、昼食、残業食にも利用できる260名収容可能な「ABCカフェ」を設置、そこには作業員のお子さんの書いた「はたらくお父さん」の絵を展示するなど建設現場で働く幅広い年齢層の作業員、多くの職種の作業員が日頃感じる疲労やストレスを出来るだけ軽減して、働きやすい建設現場を目指すの取組を行ったことを評価した。
特別賞	中電不動産トーエネック大高営業所	愛知	株式会社竹中工務店	地球と環境にやさしい思いやり工事	職長会農園での野菜の栽培を通して、農園が憩いと和の空間となり、良好なコミュニケーションが築かれた。職場が快適であるためにはより安全であることが不可欠との思いのもと、見える化活動を取り入れ、イラストや「かもカード」を活用により全工期無災害を達成した。怪我をしにくい体づくり、肩痛、腰痛防止には外部講師を招きストレッチ教室を開催するなど、思いやりのある取組を評価した。
特別賞	問屋町西部南街区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事	岐阜	戸田建設株式会社	みんなでルールを決め、決めたことは必ず実行し、施工効率を上げよう	建設業は、物を運んで取り付けることが主たる仕事であるが、これが重労働である。いかにスムーズに水平移動させ、早く上に揚げ・卸すかに思慮し、敷き鉄板で段差をなくす、フォークリフトで工事用ELVに直接載せとする、キャスター付きパレットで荷やゴミの移動をスムーズにする等々の工夫を実施し、重労働を軽減し、且つ、作業効率アップを図ったことを評価した。
特別賞	奈良第1地方合同庁舎耐震改修建築工事	奈良	村本建設株式会社	人にやさしく、自分たちもよりよい環境で力を発揮しよう	耐震改修工事であり、施工フロアー以外では庁舎が通常業務を行う中で騒音・振動に配慮しての施工となるため、作業員に多くの我慢を強いることになりかねないが、例えば防音シートを張る場合でも随所に明り取りの窓を設けて作業員の作業環境を向上させるなど、積極的に作業環境の改善を図ったことを評価した。
特別賞	和田山八鹿道路浅野地区改良工事	兵庫	奇神建設株式会社	労働者の作業環境を整備して、労災0を目指そう	労働災害は絶対に起こさないという強い決意のもと、作業員の作業環境整備に努め、熱中症対策では塩飴と高分子給水ポリマーを使用したスカーフを作業員に配布し、また、作業所に高輝度照明のメタルハライドランプを設置し安全性を高めるなど、工夫ある取組を評価した。